



Creative Application A06

美術思想史1: 観察の変遷 - 表現者の思考

2023年度

渡邊 賢悟 (渡辺電気株式会社)

受講のてびき

- ・ 本資料は作成者の解釈が含まれます
解釈違いや、答えのない議論があります
- ・ 前半：1テーマの座学
- ・ 後半：テーマを深める質問と考察
- ・ 気になる点をメモして受講してください

資料の見方

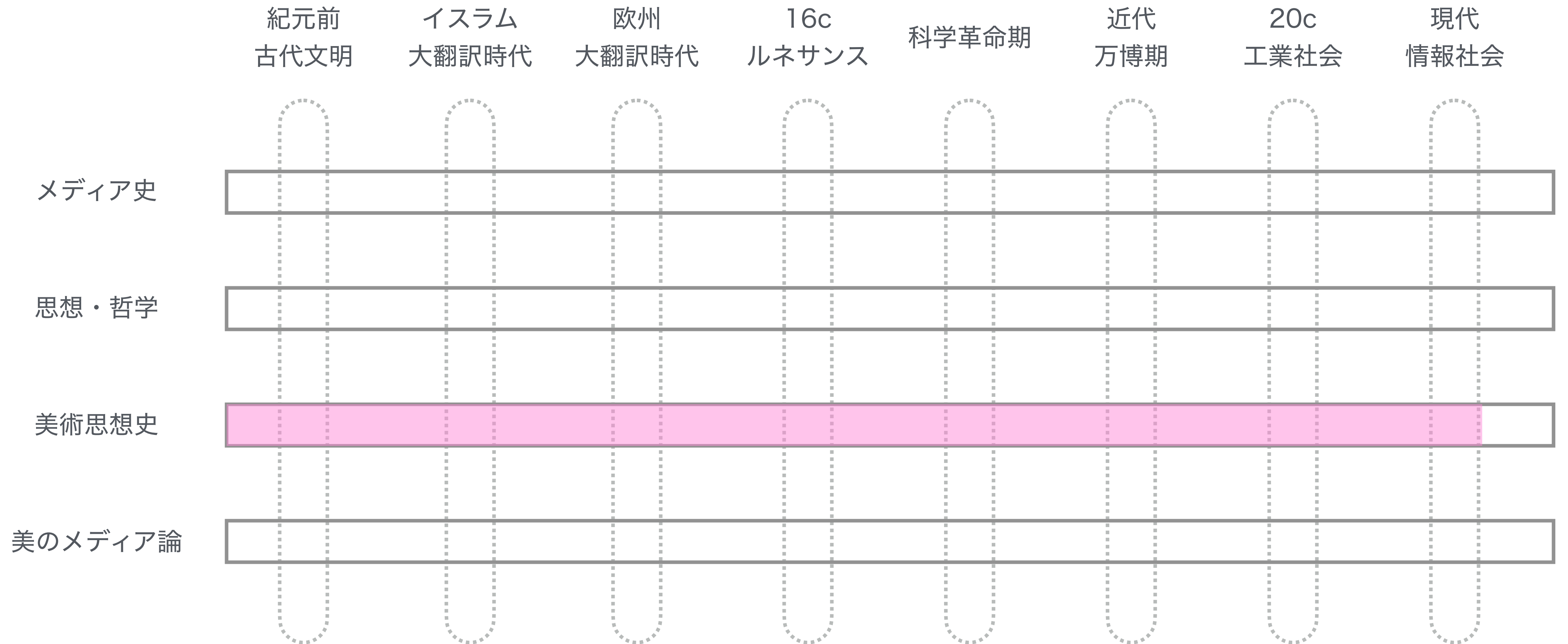
テーマに沿った項目
(座学で説明します)

左の内容に関連した
補足キーワード
(調べ物に役立ててください)

本日のテーマ

- ▶ **思考は知覚の捉え方を変え、表現を変える**

演習の領域



表現のメディア化と知覚・観察の変遷

- ▶ 表現 = 試行錯誤のアウトプット
- ▶ 個人の思考を表現し社会に結ぶ
- ▶ **表現のメディア化**
 - ▶ 個人の内的感覚をどうアウトプットするか
- ▶ 表現者たちの試行錯誤の歴史
 - ▶ 知覚と観察の視点から表現の変遷を追う

観察の変遷1 - 原始キリスト教

- ▶ 有力者や宗教が生活規範
- ▶ **目的が前提にある観察**
 - ▶ 宗教の視点に固定
 - ▶ **非写実性**, 神の不変性
- ▶ 信仰強化のための観察の活用

関連キーワード

- プラトン, イデア論
- アリストテレス, フィロソフィア
- アレクサンドロス3世, ヘレニズム文化
- ギリシャ, オリエント, ペルシャ文化の混交
- キリスト教のローマ国教化
- ビザンティン文化, ビザンティン美術
- イコン



観察の変遷2 - アッバース朝

- ▶ 知識人の思考の結びが発達
- ▶ **伝達・記録のための観察**
 - ▶ 星の記録や書物の挿絵, **学問的要求**
- ▶ 観察の精密さより、記録を優先

関連キーワード

- イスラム教の誕生, ウンマ, ウラマー, スーフィー
- 製紙技術の獲得, タラス河畔の戦い
- イスラム科学, イスラム大翻訳時代
- 知恵の館, アリストテレス哲学, 弁証法, 解釈学
- ブラフマーグプタ, フワーリズミー
- バビロニア数学, インド数学
- バビロニア天文学
- ミニアチュール(細密装飾絵画)



観察の変遷3 - ルネサンス前夜

- ▶ イスラム文化流入で欧州の意識変化
- ▶ 知覚した**観察**特徴に注目
 - ▶ 空間認識, 数学の活用など
- ▶ 現実空間の素朴な**観察**

関連キーワード

- 欧州大翻訳時代, トレド, パレルモ
- スコラ哲学, トマス・アキナス
- チマブーエ, ジオット
- マゾリーノ, マザッジオ
- 空間認識, 一点透視図法, 代数学, 幾何学
- 「貢の銭」

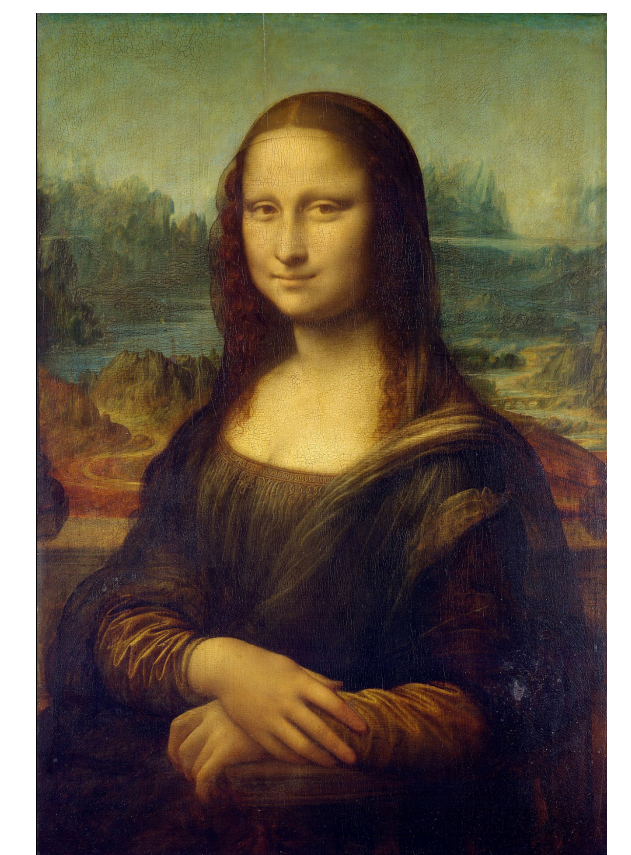


観察の変遷4 - イルネサンス前後

- ▶ 多視点の価値観の獲得
- ▶ **観察の重要性の確立**
 - ▶ 知覚を研ぎ澄まし，観察を深化
 - ▶ 観察を活かした表現の模索
- ▶ **知覚の純粹な追求**

関連キーワード

- ブルネレスキ, 花の聖母寺, クーポラ
- グーテンベルク, 活版印刷技術
- ビザンティン帝国の滅亡
- コジモ・デ・メディチ, アカデミア・プラトニカ
- レオナルド・ダ・ヴィンチ, 「モナリザ」
- スフマーノ技法, 空気遠近法
- ヴァザーリ, 「列伝」
- ディセーニョ
- 宗教改革



観察の変遷5 - 科学発展期と主観

- ▶ 個人の思考(主観)の混交
- ▶ **観察**の合理性と、主観のせめぎ合い
 - ▶ 観察重視の表現 vs 観察後の感性の表現
- ▶ 個人の**観察**と表現は、客観か？主観か？

関連キーワード

- バロック期,カラバッジョ,「聖マタイの召命」,ルーベンス
- 新古典主義, アングル
- ロマン主義, ドラクロワ
- フェルメール, カメラオブスキュラ
- 近代科学, コペルニクス, ガリレイ, ニュートン
- デカルト, カント, ヘーゲル, 存在論と認識論
- オイラー, ラグランジュ, ラプラス, ガウス, ポアソン



観察の変遷6 - 万博・大量生産時代

- ▶ 世界交流と近代技術
- ▶ **技術や異文化の影響で観察が多様化**
 - ▶ 印象派：時間変化の観察
 - ▶ 工業化：観察の意義の問い
- ▶ 表現における**観察, 技術, 主客の在り方**の議論

関連キーワード

- パリ万博, ジャポニズム
- 写実主義, クールベ, 個展
- 印象派, モネ, チューブ絵具, キャンバス油彩
- アーツアンドクラフツ運動, モリス
- 新印象主義, スーラ, シニャック
- フォビズム, マティス
- 色彩理論, シュヴルール

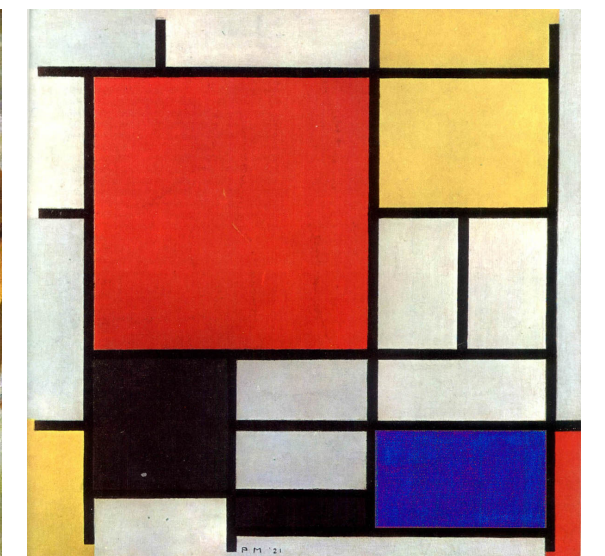
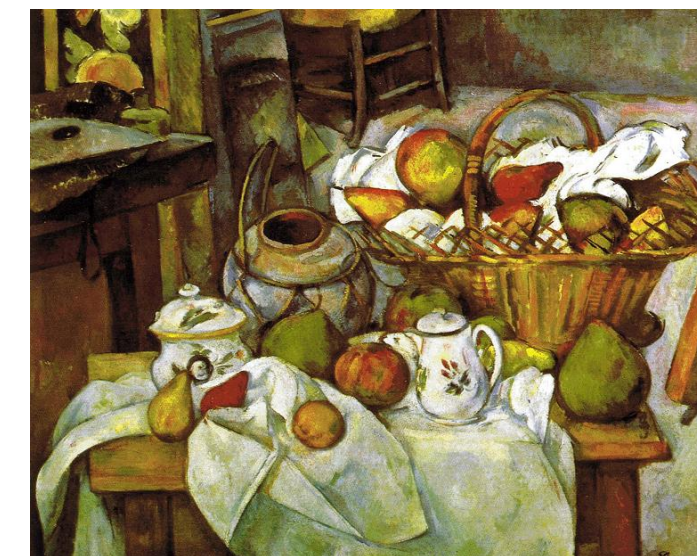


観察の変遷7 - 20世紀社会と美術

- ▶ 近現代社会の中での表現模索
- ▶ **観察の先の追求**
 - ▶ 観察はメディア化や社会実装の大前提
 - ▶ 表現者は観察の次を志向
- ▶ **観察の先にある本物・普遍性の模索**

関連キーワード

- アール・ヌーヴォー, アール・デコ
- ポスト印象派, セザンヌ, 多視点表現
- キュビズム, ピカソ, ブラック
- 新造形主義, モンドリアン, 抽象画
- バウハウス, デッサウ, グロピウス, イッテン, カンディンスキー, クレー, アルバース
- プラトン, アリストテレス, 存在論
- ベンヤミン, アドルノ
- メイヤスー, 思弁的実在論
- ガブリエル, 新実在論



思考は知覚の捉え方を変え、表現を変える

- ▶ **思考の変化・観察の変化・表現の変化**
 - ▶ 古代：記録の道具
 - ▶ 中世：知覚の追求
 - ▶ 近代：観察の主観性の議論
 - ▶ 現代：観察の先の普遍性の模索

本日の議論・考察一助

- a. 知覚は多くの人間に備わるが、共通性はあるだろうか
- b. 観察と表現, 観察と創作, 観察と社会実装, どのような関係だろうか
- c. メディア化と観察の関係性を整理すると, どのようなになるだろうか
- d. その他, 今回の内容で深めたいところがあれば

次回予定

- ▶ **美術思想史2：美の諸説 - 表現者の追うもの**

参考文献

1. 井筒 俊彦, 「イスラーム文化 - その根底にあるもの」, 岩波書店, 1991
2. 高階 秀爾, 「ルネッサンスの光と闇」, 中公文庫, 1987
3. 井上 浩一, 「生き残った帝国 ビザンティン」, 講談社文庫, 2008
4. 伊東 俊太郎, 「十二世紀ルネサンス」, 講談社学術文庫, 2006
5. 徳善 義和, 「マルティン・ルター - ことばに生きた改革者」, 岩波新書, 2012
6. ハーヨ・デュヒティング, 「ジョルジュ・スーラ 1859-1891 点に要約された絵画」, タッシュンジャパン, 2000
7. ポーラ美術館学芸部 「色彩の瞬き スーラの点描主義からマティスのフォーヴィスムまで」, ポーラ美術館, 2004
8. 岡本 裕一郎, 「いま世界の哲学者が考えていること」, ダイヤモンド社, 2016
9. 竹田 青嗣, 「現象学入門」, NHK出版, 1989
10. 西垣 通, 「AI原論 神の支配と人間の自由」, 講談社選書メチエ, 2018
11. マルクス・ガブリエル著, 清水 一浩訳, 「なぜ世界は存在しないのか」, 講談社選書メチエ, 2018